

平成26年度

事業報告書

自：平成26年 4月 1日

至：平成27年 3月31日

平成26年度 事業報告

1. 事業活動報告

最近のマスコミ報道によると、2014年10月現在の我が国の人口は、前年に比べ21万5千人少ない1億2708万人となって4年連続で減少し、08年のピークから約100万人減少した。加えて、出生者より死亡者が多い「自然減」は、推計を始めた1951年以降、初の25万人台に達し、少子高齢化が加速する現状が浮き彫りとなっている。

こうした社会情勢の下で、昨今の医療環境を巡る変遷は、診療報酬や所得税の関わりのみならず、社会保障制度改革国民会議報告書では、改革の方向性の一つとして、『「病院完結型」から「地域完結型」へ』や『地域ごとに医療・介護・予防に加え本人の意向と生活実態を中心とした生活包括ケアシステム』が求められ、厚生労働省は、『地域医療介護総合確保基金』の事業区分別を次の方向性へと絞っているようである。

- ・ 病床の機能分化・連携に関する事業
- ・ 居宅等における医療の提供に関する事業
- ・ 医療従事者の確保・要請に関する事業

一方で、当協会の一年を顧みると、第一に平成27年2月16日には、多数のご来賓の方々にご臨席いただいて法人化25周年記念祝賀会を盛会裏に開催し、記念誌も編集委員会の積極的な取り組みにより発刊することができた。

第二には、当協会の主管事業の一つである定款第3条（目的）に定める「相模原市域で発生する急病患者に対し必要な医療を迅速に提供すること」では、内科二次応需複数開設日を15日から20日に増やすことにより、GWやお盆、年末年始等の期間に市内東西南北の複数医療機関で実施したことで成果を上げることができた。このことは医療従事者の加重労働からの開放となり、ひいては医療安全文化の構築へと繋げていくこととなる。

また、搬送支障症例が例年増加傾向にある消化器二次救急オンコール体制に関しては、相模原市と共にアンケートを実施して委員会を開催し、消化器二次に関してはコーディネーター医師制度導入を検討するなど搬送支障症例の改善に取り組んでいる。

一次事業である「相模原北メディカルセンター急病診療所（市医師会運営）」への医師派遣協力事業については、相模原協同病院の全面的な協力の下に51日間実施し、一次医療機関である中央メディカルや南メディカルにおける内科受診者が微減する傾向がみられ、一定の成果があげられた。

なお、12月1日には、悪天候時、特に雪害等のために「相模原西メディカル急病診療所」が診療対応出来ない場合を予見して相模原赤十字病院の協力を得て一次応需体制の補完に係る覚書の締結を行った。

第三は、看護職確保対策事業として初めての試みである相談会（2回）と技術研修会を開催して、慢性的に不足している看護職（准看護師も含む）を市内医療機関5ヶ所と特別養護施設1ヶ所に7名の採用者を確保することができた。

このことに関連して、第四番目は、公益財団法人相模原市健康福祉財団が運営する相模原看護専門学校の財政的、組織的支援を継続し看護師奨学生確保に向けての検討や准看護学院の継続に向けての実習場確保などの更なる検討を重ねた。

当協会の主業務と言える二次救急医療業務の関連では、総務省消防庁速報値による、救急車出動件数は増加しており平成26年度には598万件余りで過去最多を更新し、この四半世紀で2倍以上に増え、全国で約5秒に1度、救急車が呼ばれている現状が存在している。

交通事故との因果関係を調べると、この10年ほど減り続けており救急車出動の大きな要因は「高齢化」であるとのマスコミからの指摘もある。

このことを踏まえて二次救急医療の更なる充実と高齢化対策にも重点を置き、我が国の高齢者ピークを迎える2025年までの残された期間に更なる飛躍が求められるが、平成26年度の主要な事業実績について次のとおり報告する。

2. 主な事業実績

(1) 総務関係事業

- ① 定時総会は、5月26日に開催し、平成26年度事業報告に伴う決算等の報告を行った。
- ② 理事会は次のとおり開催し、うち3回は拡大理事会（役員病院の事務長、看護部長等参加）として開催した。

開催日	曜	回数	主題	理事		監事		名誉 会長	参与	議長	部長 等	事務局
				出席	定数	出席	定数					
平成26年4月30日	水	第122回	理事の辞任に伴う後任理事の選任及び平成25年度事業・決算・監査報告等	10	14	2	2	1	1	—	—	4
平成26年5月26日	月	第123回	看護職確保対策委員会委員について及びB会員報告等	10	14	2	2	0	1	—	15	4
平成26年6月25日	水	第124回	平成27年度市への事業予算要望及び納涼会について等	10	15	1	2	1	1	1	—	4
平成26年7月23日	水	第125回	法人化25周年記念事業について等	11	15	1	2	1	1	1	—	4
平成26年9月24日	水	第126回	法人化25周年記念式典での講演及び第23回全国救急隊員シンポジウム関連	8	15	2	2	1	1	1	0	3
平成26年10月22日	水	第127回	相模原看護専門学校の奨学金制度資金協力について等	11	15	2	2	1	1	0	—	4
平成26年11月26日	水	第128回	A会員の新規加入及び理事の死亡に伴う後任理事について等	11	14	2	2	1	1	1	13	4
平成26年12月24日	水	第129回	平成26年度医師会・病院協会の役員による懇談会について等	10	14	2	2	1	1	1	—	4
平成27年2月25日	水	第130回	平成27年度 定時総会、優良職員表彰、懇親会、理事会日程について等	11	14	2	2	1	1	0	—	4
平成27年3月25日	水	第131回	平成27年度事業計画・収支予算について等	12	14	1	2	1	1	0	10	4

- ③ 各部会・委員会については、B会員登録者 117 名も含め自主的活動など協会の各事業を推進する役割を担っていただき協会設立目的の達成に邁進している。
- ④ 会員の慶弔、懇親会等を通じた交流事業については、例年通り盛況な中で開催することができた。なお、国立病院機構相模原病院長秋山一男理事が 11 月 3 日にご逝去されたことに関しては改めて哀悼の意を捧げたい。
- ⑤ 市及び関係団体等との連携・調整に関しては、市医療担当幹部職員との次年度予算の折衝を 7 月から開始し本年 1 月に結論を得た。本年 1 月 27 日には市医師会役員との通算 11 回目となる「役員等懇談会」を開催し協議事項としては次の事項に関して提案し質疑応答を行った。
- ・ 今後の相模原北メディカルセンター急病診療事業への協力について
 - ・ 救急医療と災害時医療の現状と課題
 - ・ 相模原看護専門学校および相模原准看護学院への支援について

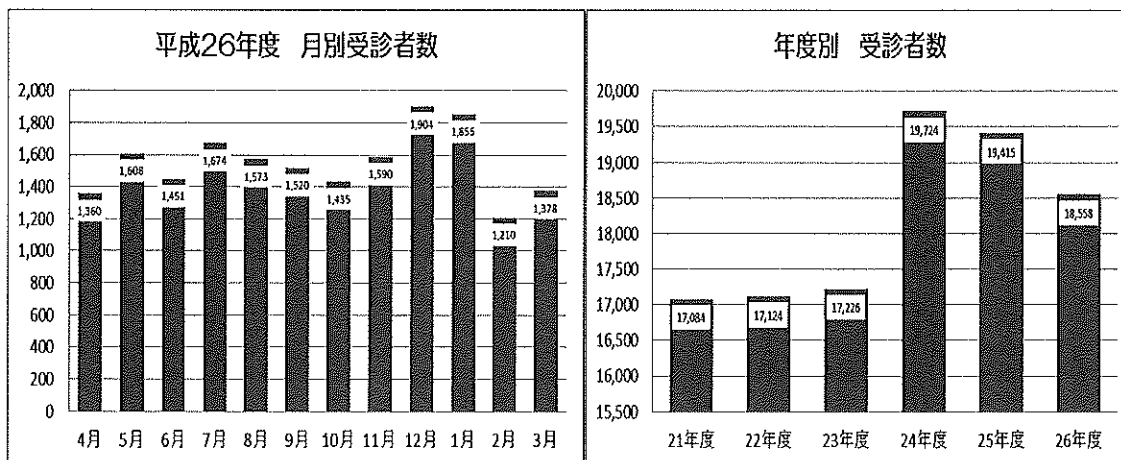
(2) 救急医療対策事業

- ① 市から受託している二次救急医療事業（内科系、消化器系、循環器系、小児科、産婦人科）並びに自主事業である外科二次救急事業の円滑な運営や応需体制の決定に加えて病院相互協力の強化を目的として今年度中に次のとおり開催した。

開催日	曜	回数	主題	委員
平成26年4月24日	木	第35回	平成26年度下期当番表アンケート 等	27名
平成26年7月10日	木	第36回	平成26年度下期当番表について 等	20名
平成26年8月12日	火	第37回	平成26年度下期当番表について 等	19名
平成26年10月21日	火	第38回	平成26年度年末年始応需当番表について 等	26名
平成27年1月13日	火	第39回	平成27年度上期当番表アンケート 等	21名
平成27年2月17日	火	第40回	平成27年度上期当番表について 等	22名
平成27年3月12日	木	第41回	平成27年度上期当番表について 等	22名

この二次救急医療運営委員会下部組織として、循環器責任医 6 名（座長；井關相模原協同病院副院長）・小児科責任医 7 名（座長；土屋渕野辺総合病院理事長）・事務長等 13 名（座長；相模原中央病院小倉事務長）の各種調整会議をその都度必要に応じて開催し、二次救急医療当番日の調整や補完を行っている

② 今年度並びに年度単位の受診者数は次のとおりである。



③ 年度別の二次救急医療に関する事業経費は次のとおりである。

年度	年間受診者数	一日平均受診者	年間総事業費(円)	一人平均(円)
26年度	18,558	50.8	908,385,250	48,948
25年度	19,415	53.2	876,409,192	45,141
24年度	19,724	54.0	867,928,222	44,004
23年度	17,226	47.2	799,564,607	46,416
22年度	17,124	46.9	757,112,977	44,214
21年度	17,084	46.8	687,057,958	40,216

④ 内科複数開設に関しては、一地域の医療機関に受診者が集中することなく東西北地域に担当医療機関が分散することにより迅速な搬送や受診時間の短縮に繋がり、救急医療の質的向上と医療スタッフの軽減負担に貢献できる結果となった。

今後も更に、一次、二次、三次の医療を担当する機関が効果的な連携がスムーズに行えるよう相模原市、市消防局、市医師会そして大学病院との更なる調整を行うことが求められる。

⑤ 三次医療機関との「相模原ルール」の運用に関して、二次救急運営委員会において発生事例を個別に報告し、改善に結び付けるべく周知を行い、搬送時の中断に伴うルール宣言を減らす努力を継続した。

今年度の「相模原ルール宣言」回数は、36回で、そのうち、18回の50%が二次病院にフィードバックされている。

⑥ 消化器系二次の在り方に関しては、搬送ルール徹底のためのコーディネーター医師の導入検討を行ったが具体的な方向性については、市が主催する「医療対策協議会（救急医療対策）」の結論に委ねたい。

⑦ 消化器救急に代表される二次救急医療時間帯における搬送支障症例に関して二次救急医療運営委員会で報告した総件数は、38件であり、このうち、事務的所見であるが消化器系疾患に関する支障症例は、18件の47.4%に上り改善を目的とした事案報告を行った。

⑧ 二次救急医療における平成25年度分損失医療費助成金について

平成25年度上期における二次医療機関からの申請は、9医療施設から73名分・約120万円の申請がなされ審査の結果、69名分約97万円の損失医療費の補填支給を行った。

平成25年度下期における申請は、12医療施設から77名分・約120万円の申請があり、審査の結果、74名・約100万円の損失医療費の補填支給を行った

(3) 災害対策事業

① 9月1日に第35回九都県市防災訓練に関連医療機関と共に参加し、市・市民・防災関係機関・九都県市との連携を図った訓練を行い所期の目標を達成した。

また、2月3日には、相模原市で初めて開催された「国民保護実働訓練」において、国際テロ組織への対応や化学剤暴露を想定した訓練に参加し情報共有と役割分担などについても認識することができた。

② 6月30日には、災害時救急医療の通信手段として求められる「衛星電話」（災害時医療救護体制整備に係る補助事業）の使用説明会を救急告示14病院と三次医療機関1病院の15病院を対象に相模原市主導で行った。

(4) 地域医療対策事業

① 市から受託している「認知症患者に関する医療機関連携システム事業」に関しては、北里大学東病院並びに市高齢者支援課との連携の下に認知症地域連携パスである「支え手帳」の活用も含めて関連病院との入退院事業を次のとおり行った。

対象月	利用者	日数	委託費	内容
平成26年4月	1	14	45,360	急性期受入
平成26年9月	1	14	45,360	〃
平成26年10月	1	14	45,360	〃
平成27年1月	1	14	45,360	〃
年間合計	4	56	181,440	

(5) 学術研究事業

① 医療講演会・研修会の開催及び医療に関する情報収集を行った。特に相模原市との「医療懇話会」は1月9日に開催され、救急医療と災害医療の現状と課題、病院と行政との連携についての意見交換が行われた。

② 病院運営に関する必要な各種調査等を実施した。

(6) 広報活動事業

- ① 協会ホームページの開設に伴い、神奈川県や相模原市に加えて神奈川県病院協会からの通知文書や当病院協会の理事会議事録や研修会等の情報伝達を継続して行っている。

昨年度のアクセス総件数は 18,296 件で一日平均 50.13 件であった。

- ② 法人化 25 周年記念誌作成のための編集委員会を協会内に組織化し、2 名の理事に編集責任者（梨本理事）と編集委員長（小松理事）を依頼し、事務長部会や看護部長会から選出いただいた 11 名の委員と参与のご協力で約 700 冊の記念誌を発刊することができた。

(7) 福利厚生・褒賞事業

- ① 優良職員表彰は、5 月 26 日の定時総会終了後に 20 会員病院 52 名の職員の方々を対象に表彰を行い、その後の懇親会は、市医師会長、副会長を来賓とする約 130 名の参加により盛大に挙行了した。

- ② ボーリング大会は 11 月 12 日に 10 病院から 24 チーム 93 名の参加を得て、丘整形外科病院の協力の下、病院職員相互の交流及び健康増進を図るため開催した。

男子団体優勝：相模原南病院 A チーム

女子団体優勝：総合相模更生病院 A チーム

(8) 収益事業

- ① 各種予防接種における会員病院取扱い分を収益事業として位置付け、本協会の財政基盤の強化事業として実施した件数等については次のとおりである。

支払月	件数			委託料(病院支払分)			事務手数料収入			合計
	個別予防接種	高齢者インフル	計	個別予防接種	高齢者インフル	計	個別予防接種	高齢者インフル	計	
平成26年4月	412	0	412	2,142,530	0	2,142,530	64,890	0	64,890	2,207,420
平成26年5月	453	0	453	2,262,158	0	2,262,158	71,347	0	71,347	2,333,505
平成26年6月	423	0	423	2,259,867	0	2,259,867	68,526	0	68,526	2,328,393
平成26年7月	427	0	427	2,286,790	0	2,286,790	69,174	0	69,174	2,355,964
平成26年8月	429	0	429	2,284,458	0	2,284,458	69,498	0	69,498	2,353,956
平成26年9月	351	0	351	1,830,522	0	1,830,522	56,862	0	56,862	1,887,384
平成26年10月	385	0	385	1,970,902	0	1,970,902	62,370	0	62,370	2,033,272
平成26年11月	411	0	411	2,169,384	0	2,169,384	66,582	0	66,582	2,235,966
平成26年12月	532	2,859	3,391	2,895,057	10,158,825	13,053,882	86,184	463,158	549,342	13,603,224
平成27年1月	409	8,282	8,691	2,240,653	29,413,790	31,654,443	66,258	1,341,684	1,407,942	33,062,385
平成27年2月	439	4,549	4,988	2,357,964	15,850,410	18,208,374	71,118	736,938	808,056	19,016,430
平成27年3月	435	0	435	2,354,043	0	2,354,043	70,470	0	70,470	2,424,513
年間合計	5,106	15,690	20,796	27,054,328	55,423,025	82,477,353	823,279	2,541,780	3,365,059	85,842,412

(9) 医療従事者対策事業

- ① 看護師等の確保対策として、公益財団法人相模原市健康福祉財団が運営する相模原看護専門学校への運営に対する支援を継続し、側面からの支援として、『企画調整会議』や『看護師奨学金貸与事業WG』への人的参加を行った。
- ② 准看護師育成機関支援の一環として、実習場確保等に関するヒアリング等を実施して、将来的に准看護学院の継続と発展に関する経済的支援も含めて更なる検討を行う必要がある。
- ③ 昨年度、協会内に「看護職確保対策委員会」を設置し、慢性的に不足状態が続いている看護職確保について、継続的に対策等を検討し、アンケート結果の分析を行い相談会、研修会の事業を行った。

委員会の開催状況については次表のとおりであり、相談会並びに技術研修会の開催結果についても、次表に集約を行った。

特に、相模原市内の特定機能病院をはじめとする急性期から慢性期までを担当する医療機関等に7名の採用結果を得たことに関しては、初年度事業として大きな成果を挙げた事業と言える。

回数	開催日		委員会		
	年 月 日	曜	委員長	参加者	
第1回	平成25年9月18日	水	杉山 育子	9	
第2回	平成25年10月25日	金	↓	9	
第3回	平成25年12月12日	水		10	
第4回	平成26年1月22日	水		10	
第5回	平成26年3月11日	水		10	
第6回	平成/26年4月8日	火		10	
第7回	平成26年5月13日	火	杉山 育子	15	
第8回	平成/26年6月17日	火	渡辺 加代子	13	
第9回	平成26年7月8日	火	↑	10	
第10回	平成26年8月8日	金		11	
第11回	平成26年9月9日	火		12	
第12回	平成26年10月14日	火		11	
第13回	平成26年11月11日	火		12	
第14回	平成26年12月10日	水		8	
第15回	平成27年1月20日	火		10	
第16回	平成27年2月10日	火		10	
第17回	平成27年3月10日	火		渡辺 加代子	11

事業内容	実施期間	曜	参加者	参加協力病院情報				
				参加病院	参加委員	NWC(部長会)	臨床指導者	事務職
アンケート実施	平成25年10月28日	月		30病院				
	～		一					
第1回エントリーシート提出	平成25年12月2日	月		24病院				
	～		一					
第1回相談会	平成26年5月27日	月		9病院	8	5		6
	～		一					
第1回技術研修会	平成26年6月22日	日	16	場所:南区『ポーノ相模大野サウスモール』				
	平成26年10月26日	日	27	6病院	7	2	8	3
第2回エントリーシート提出	平成26年11月14日	金		27病院				
	～		一					
第2回相談会	平成26年11月28日	金		12病院	5	10	0	1
	平成29年2月8日	日	11					

(10) 交流事業

- ① 「納涼会」については、8月27日に相模原市長から講話を頂戴し市幹部職員の方々を主賓として当協会理事や会員病院の管理者等40名の参加を得て和やかな雰囲気の中で交流と親交が更に深められた。
- ② 恒例となっている賀詞交歓会に変えて、法人化25周年記念祝賀会を2月16日に開催した。

当日は、内閣官房副長官として歴代7内閣総理大臣に仕えた地方自治研究機構会の石原信雄会長から「これからの日本」と題した講演を70名のご来賓を加えて総勢約150名の方々とうかがった後に大変華やかな中に親しみのもてる懇親の場が開催された。

平成26年度 事務長部会の事業報告

第1回 事務長部会（平成26年6月26日・ウェルネスさがみはら3F 集団指導室）

【内 容】

- (1) 事務長部会の活動方針について
 - ① 平成26年度の活動について
 - ② 講演会について
- (2) 報告事項
 - ① 看護職就職相談会（6/22開催）について
 - ② その他

第2回 事務長部会（平成26年10月8日・ウェルネスさがみはら 7F 視聴覚室）

【内 容】

- (1) テーマ 『医療安全相談窓口から学ぶ』
- (2) 講 師 相模原市保健所 医療安全相談員（鶴田氏、地藏氏、三浦氏）
- (3) 参加者 50名

第3回 事務長部会（平成26年12月17日・ウェルネスさがみはら5F 会議室）

【内 容】

- (1) 情報提供
- (2) 部会活動方法等アンケート結果並びに方向性について
- (3) 今後の進め方
- (4) その他

第4回 事務長部会（平成27年3月24日・ウェルネスさがみはら5F 会議室）

【内 容】

- (1) 平成27年度事務部長会活動方針（案）について
- (2) 相模原市病院協会役員改選に伴う理事の推薦について
- (3) その他、資料配布等

以 上

平成 26 年度相模原市病院協会看護部長会 事業報告

メインテーマ「看護の質向上をめざして」～変化する時代に対応できるネットワークづくり～

1. 研修会

日時	事業内容	参加人数
第1回 4月18日(金) 14:00～15:30	研修会 テーマ:「相模原町田地区介護医療圏 インフラ整備コンソーシアム事業」 講師:清水 美佐子 氏 北里大学病院 患者支援センター係長	会場: ラポール千寿閣 参加者: 27名
第2回 4月18日(金) 16:00～17:00	平成 26 年度看護部長会定期総会 ・平成 25 年度事業報告 会計・監査報告 ・平成 26 年度事業計画(案) 収支予算(案) ・平成 26 年度役員選出 ・各事業より連絡 看護協会相模原支部 神奈川県看護協会 相模原市病院協会	会場: ラポール千寿閣 参加者: 24名 委任状: 6名
第3回 7月1日(火) 14:00～16:00	研修会 テーマ:「26 年度診療報酬改定を受けて、相模原市の 地域医療はどう変わるか ～地域完結医療 において看護管理者に望むこと～」 講師:小松 幹一郎 先生 小松会病院 院長	会場: 南メディカルセンター 参加者: 89名
第4回 9月11日(木) 9:30～16:30	研修会 テーマ:新人看護師のためのフィジカルアセスメント研 修 講師:堀江千恵子 氏 内藤 亜樹 氏 齋藤 耕平 氏 北里大学病院集中ケア認定看護師	会場: 北里大学病院 スキルラボ室 参加者:30名(新人) 12名(指導者)
第5回 12月9日(火) 14:30～16:10	研修会 県看護協会相模原支部共催 テーマ:「これだけは知っておきたい認知症看護 ～いろはから最新情報まで～」 講師:坂田 深一 先生 相模ヶ丘病院 院長	会場: 南メディカルセンター 参加者: 94名
第6回 3月6日(金) 14:00～16:00	講演会 テーマ:「生きている喜び～ガンからの生還～」 講師:小西 博之 氏 俳優	会場: 杜のホールはしもと 参加者: 107名

2. 看護職復職支援事業 主催:病院協会 共催:相模原市

日時	事業内容	参加人数
第1回 6月22日(日) 10:30～15:00	第1回「看護職就職相談会」	会場: ボーノ相模大野サウスモール3F 来場者: 16名
第2回 10月26日(日) 10:30～15:00	「復職支援のための技術研修」	会場:相模原看護専門学校 参加者:27名
第3回 2月8日(日) 10:30～15:00	第2回「看護職就職相談会」	会場: 杜のホールはしもと 来場者: 11名